

平成 28 年度弘前大学グローバル人材育成事業モデル事業

学 生 市 民 等 協 働 プ ロ グ ラ ム 報 告 書

申 請 者	所属部局・職名	人文社会科学部・准教授
	氏 名	熊野 真規子
事 業 名	「弘前×ボルドー」プロジェクト:学生企業人協働シティ・プロモーション事業	
事業の概要とその成果		
<p>【構成メンバー】8名</p> <ul style="list-style-type: none">・チームリーダー(人文社会科学部)熊野 真規子(准教授)・指導教員(人文社会科学部)小野寺 進(准教授)・参加学生(人文学部)4名(2年生)・事務職員(社会連携課) 星 晃治・企業人(弘前こぎん研究所) 1名(専務取締役) <p>【実施期間】</p> <p>平成28年10月20日～平成28年10月28日</p> <p>【事業概要とその成果】10月21日:MAISON DU JAPON(日本館)合せおよび会場設営 10月22日:弘前の地域資源発信イベント@MAISON DU JAPON https://www.facebook.com/251112538270169/photos/?tab=album&album_id=1164302126951201 10時頃から19時過ぎまで展示会(市の物産品、観光関連ポスター、冊子および映像展示)と津軽こぎん刺しワークショップを行い、来場者に質問紙によるアンケートおよび弘前の四季、文化、工芸の嗜好についての投票型調査を実施。ヴァカンス時期と重なり来場者数は昨年度の半分程度だったが、丁寧な対応と交流ができ、来場者の滞留時間が長く、昨年度以上にインバウンドに手応えが感じられた。 10月23日～26日:来年度「弘前×フランス」週間の展示および発行紙に向けてのボルドー市街フィールドワーク、Cité du Vin 視察(6月開館したての注目の新概念ワイン文化ミュージアム)、アルカション取材(交通利便性、観光政策等)、並行してボルドー・モンテーニュ大学日本語サークル学生および MAISON DU JAPON 日本語教室受講生との交流をつうじた弘前市物産、弘前観光、留学等に関するインタビュー、モンテーニュ大学日本語授業サポートを通じた交流、日本情報発信拠点(日本の工芸品・雑貨販売、出版社、文化講座、日本語講座を展開)である Maison du Japon のショップ内視察およびオーナー進藤夫妻との会談等を実施した。それらをつうじて、参加学生は現地の人から関心が寄せられる分野、ツーリストのニーズ、弘前(青森県)に応用できる施策などを考察できる材料を獲得できた。また、帰国後の学習意欲の飛躍的な向上(SNSを通じた交流が継続し交換学習を行っている)も見られている。シティプロモーション、留学については発信の継続と交流の深まりにより弘前旅行・弘前留学への関心が高くなり、複数名の旅 行予定者を迎える予定となった。弘前市物産については、こぎん刺しのフランスでの販路開拓に関して、他の物産での展開についてもヒントとなりうる、現地のプロならではの貴重な指摘と助言をオーナー夫妻より得ることができ、企業人との協働プログラムならではの成果を感じることができた。</p>		